

**01** ネット時代の成功例に学べ!

**3DとAR(拡張現実)を使ったプロモーション**

▶ 不動産物件を選ぶ際、間取り図では大まかな広さや出入口、窓の位置関係はわかるが、部屋のイメージがつかみにくい。

そこで、沖縄県沖縄市の不動産会社が今年1月から、自社が管理する賃貸物件を3Dデータ化し、立体的な画像で室内の様子を見られるサービスを始めた。

最終的に物件を訪れる必要はあるが、その前段階で部屋のイメージが詳しくわかる。また、パソコンやスマートフォンでも室内の様子を3Dで見ることができて、物件探しに大いに役立っている。

▶ ノルウェーの自動車会社が、テレビCMと連動したAR(拡張現実)アプリをつくった。

スマホやタブレットでダウンロードしたアプリを起動させ、テレビで同社のCMが流れると、ディスプレイの中でそのクルマがテレビを突き破って部屋の中へと飛び込んでくる。

さらに、画面上でクルマを、手のひらサイズにしたり、実物大にして家のガレージに駐車したように表示させたりもできる。

このARアプリで、CMで視聴者にイメージを伝えるだけでなく、クルマをバーチャルで体感してもらえるようになった。

**02** 繁栄企業の成功要因を探る

**新たなサービスで宿泊客を集める温泉旅館**

▶ 神奈川県湯河原町、東京から東海道線で約90分の温泉地に、外国人が気軽に和文化と触れられる旅館がオープンした。

温泉は、文化的な抵抗感や宗教的な決まりから入れない外国人も多いことから、水着着用で入浴できる時間を設定した。

朝食では自らおにぎりを作ることができる。梅・シーチキン・豚肉・サケなどの具の他に、ラップも用意されていて手を汚さずに握れる。

また、女性には好きな浴衣を着て過ごせるサービスもあって喜ばれている。

また、国内の宿泊客に向けて「確定申告パック」も行っている。

これは、確定申告の受付が始まる前の3月前半、1泊2食付きで宿に籠って温泉に浸りながら会計計算をして、書類作成をするというもの。

部屋には申告書類、確定申告ハウツー本、文具、wi-fi、白黒プリンターが用意され、面倒な手続書類を一気に片付けることができる。終了後はビールで乾杯のサービスもある。

料金は、和室でゆったり過ごすタイプが1万2,000円から、ドミトリー(相部屋)は8,000円からとなっている。



**Check!** 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識  
**要チェック!**

**ネット検索から自社サイトへ導くSEO**

**第1回 ネット検索の仕組み**《前編》

多くのネットユーザーが利用するGoogleやYahoo!などの検索サイト。検索すると、多くのサイトのリンクが表示されるが、検索結果の上位に表示されるとクリックされやすい。そのため検索サイトで上位に表示されることは、ネットを利用した販促に重要である。このような検索エンジンを利用してサイトへ誘導するプロモーション手法をSEO(Search Engine Optimization)という。

**順位を上げるのはオーガニック検索枠**

Googleで検索すると、検索結果画面の上か下に、検索に関する広告が表示される。これはリスティング広告と言われ、「広告」と明示されている。これはクリックされると広告料金が発生する。

それとは別に、広告でない検索結果が表示される。広告を含まない自然な検索結果であることからオーガニック検索と呼ばれる。このオーガニック検索の枠で上位表示されることを目指したい。

そのためにはまず、どのように検索が行われるのか、その仕組みを知る必要がある。

検索エンジンにはロボット型とディレクトリ型があって、GoogleもYahoo!もロボット型である。ロボット型の検索エンジンは、クローリング、インデックス、アルゴリズムによる順位付けという3つのステップを経て検索が行われる。

**ネットを巡回し、Webページ情報を取得**

検索するためにはどのようなWebページがあるかを知る必要がある。そこで、検索エンジンでは「クローラー」と呼ばれるプログラムがリンクをたどってWebページを巡回して情報を集めている。これをクローリングという。サイトの更新や削除に合わせて自動的に行われるため、更新が多いWebページはクローリングされる頻度が高くなる。

クローリングで得たWebページの情報は検索エンジンのデータベースにインデックスして記録される。

特定のサイトがGoogleのインデックスに登録されているかどうかを調べる方法がある。検索枠でサイトアドレスの前に「site:」をつけて入力し、検索結果として表示されるとインデックスされていることになる。

そしてこの後、ユーザーの検索意図を理解し、それに合わせて検索結果を表示することになる。

**以下、続く**

注・本文中の情報は2018年5月現在のものです。

参考文献:野澤洋介著「最強の効果を生み出す新しいSEOの教科書」(技術評論社)